

図書館だより

開館時間(共通) 9時～17時30分
 中央図書館 ☎ 0558-76-5566
 葦山図書館 ☎ 055-949-8605



▲図書館 HP

今月のおすすめ

一般

【中央】



マリスアングル
 誉田哲也／著
 光文社

捜査一課姫川玲子の十一係に魚住久江が合流した。玲子の天性の勘とひらめき、久江の心に寄り添う聞き込みで、監禁目的の改築がされた民家での殺人事件に立ち向かう。

一般

【葦山】



もゆる櫓
 天羽恵／著
 徳間書店

無念を晴らすため刺客になった少女・美津と、人斬れぬ臆病なお供の武士・誠二郎。死の旅路の果てにあったのは。第6回大藪春彦新人賞の鮮烈なデビュー作。

一般

【中央】



スピノザの診察室
 夏川草介／著
 水鈴社

雄町哲郎は、亡くなった妹が遺した甥と暮らすため、大病院から京都の小さな地域病院へ移った凄腕医師。現役医師となって20年の著者が到達した「人の幸せ」とは？

一般

【葦山】



トゥデイズ
 長嶋有／著
 講談社

管理組合の理事になった妻とリモートワークの夫、5歳の息子が暮らす築50年の大型マンション。今日もささやかな事件が。かけがえのない日々を描く表題作ほか1編。

新着本コーナーから

- 一般 死んでしまえば最愛の人
- 一般 なれのはて
- 一般 砂時計
- 一般 アボカドの種
- 一般 がん経験者のリアルな生活
- 児童 物語、英語で読んでみない？
- 児童 ペンギン探検隊

- 小川有里／著 【中央】
- 加藤シゲアキ／著 【中央】
- 香納諒一／著 【葦山】
- 俵万智／著 【葦山】
- 岸田徹／著 【葦山】
- 佐藤和哉／著 【中央】
- 斉藤洋／著 【葦山】

1月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
	◇	◇	◇	4	5	6
7	⑧	9	10	11	12	☆
14	⑮	16	17	18	19	20
21	⑳	23	24	25	◇	27
28	㉑	30	31			

○ 中央休館日 □ 葦山休館日
 ◇ 両館休館日 ☆ おはなし会

1月のおはなし会

中央図書館 13日(土) 11時～
 葦山図書館 27日(土) 11時～
 くぬぎ会館こども広場
 18日(木) 10時10分～

※事前申込不要

お知らせ

ブックリスト管理

図書館HPからログインすると、「ブックリスト管理」の機能が使えます。検索結果から、「ブックリストに登録」のボタンを選んでください。読書メモとして活用できます。

- ・読みたい本、今読んでいる本、読み終わった本をリストにしたり、カテゴリで分けたりすることができます。
- ・カテゴリは、「ミステリー」「時代小説」「〇〇さんおすすめ」など、自由に設定できます。
- ・ブックリストから予約かごに入れることができます。

文化財通信

その 223

変わりゆくもの・変わらないもの - ハレとケの器 -

文化財課 ☎ 055-948-1428

私たちの生活の中で、「よそ行きのもの」・「特別なもの」と「普段のもの」を分けている場面があります。平安時代から江戸時代には、特に食事の場面において、「ハレ」と「ケ」を使い分けていました。

「ハレ」とは、「公式の」あるいは「儀礼的」の意味で、現代も「晴れ着」や「晴れの舞台」などの言葉を使います。また、お客様用のカップ＆ソーサーや、正月用の重箱など、特別な時に使う器があります。これに対して、「ケ」とは「普段の」・「日常的な」という意味です。

ここでは、戦国時代の葦山城跡出土品から、当時の器の使い分けを見てみましょう。写真1は、「ハレ」の場面を使う「かわらけ」です。かわらけとは、素焼きの土器の皿で、大・中・小の3種類の大きさがあります。写真2は、「ケ」の場面、つまり日常的な食事で使う器です。漆碗や木の皿、瀬戸美濃焼(愛知県瀬戸市から岐阜県多治見市周辺で生産された陶器)の碗や皿などがあります。「逆ではないか」、「素焼きのかわらけの方が素朴で日用品のように見え



▲写真1 「ハレ」の器(かわらけと箸)
 ※葦山城跡大手第1地点出土



▲写真2 「ケ」の器
 漆碗(左2点)、木の皿(上中央)、瀬戸美濃産天目茶碗(上右)、瀬戸美濃産皿(下2点)、箸(下)
 ※葦山城跡大手第1地点・外池第1地点出土

る」という疑問があるでしょう。しかし、実はかわらけの方が、器としての格が上なのです。

公式の宴会や儀式の場面では、酒や料理をかわらけに盛って、膳(中世には白木の盆の上に置いて提供します。そして、一度使ったかわらけは再利用せずに廃棄して、次の膳は新しいかわらけに盛って出します。未使用の真新しい器で料理を出すことが、最上のもてなしと考えられていたのです。そのため、一度の会食に大量のかわらけが必要でした。

葦山城跡の発掘調査では、ほぼ完形で、約200点のかわらけが捨て

られていた穴が見つかっています。城内で大がかりな会食が行われていたことが想像されます。

「お客様用」と「普段使い」の器の使い分けは、今に通じる習慣ですが、戦国時代と現代では、器に対する感覚が違っていたことがわかります。

**文化財展示施設
 市民説明会を開催します**
 とき／1月13日(土) 14時～15時30分、18時～19時30分(2回とも同じ内容)
 ところ／あやめ会館
 内容／基本計画(素案)の説明など